

安曇野市新市長太田寛氏選挙公約の 子ども医療費助成 18歳までの 年齢拡大実施へ決意を表明！



↑写真は記事とは関係ありません

10月19日付の市民タイムス安曇野版（全文裏面）によれば、10月17日安曇野市長選挙で当選した太田寛氏は、17日夜報道陣に問われ、子育て支援策の公約実現への決意を表明した。選挙戦で掲げた「(暮らしを)守る」の項目の一つが、中学3年生までとなっている医療費無料化の対象範囲を18歳まで拡大すること。これが実現すれば松本地域の3市（松本市、塩尻市、安曇野市）では初となる。中信地域全体では、大町市が昨年4月から18歳までの年齢を拡大しており、県下77市町村中66市町村（本年4月現在）が、助成対象年齢を18歳までに拡大している。中学3年生までに止まっているのは、長野市、松本市をはじめ安曇野市を含め11市で、今回の太田氏の決断は、松本地域のみならず、全県的に一定の影響を及ぼすものになる。太田氏は、対象年齢の引き上げで5000万円前後になる負担増に対して「(財源は)選択し集中することで経費は生まれてくるので、可能だと思っている」と自信をのぞかせた。(前述の市民タイムス紙)。

↑写真は記事とは関係ありません

松本市へ国保・介護・子ども医療費・生活保護・障がい者施策改善の要望書を提出予定(10/29)

松本地区社保協では、現在松本地域の自治体に社会保障に関する施策の改善を要望する活動を展開している。10月11日開催した幹事会で松本市への要望項目の概要を確認し、現在関係団体との最終調整を行っている。松本市側の担当窓口である健康福祉部福祉計画課の担当者との打ち合わせで要望書を10月29日に提出予定している。

尚、塩尻市には、中信健康友の会塩尻連絡会と塩尻協立病院で対応、山形村には、中信健康友の会山形支部と山形協立診療所で対応。安曇野市に対しては、安曇野市関係の社保協加盟団体等に呼びかけて対応を検討している。



↑上記写真は、昨年の懇談会

長野県国保改善運動交流集会

2021年11月27日(土)13:30~16:00

松本市勤労者福祉センター3-3 会議室(ZOOM 併用)

講演「国保の全国動向と運動課題について」

講師:谷本 論氏(日本共産党政策委員会副責任者)

各分野からの活動報告・意見交換 等

松本市国保運営協議会の公募委員2名に、社保協加盟団体の関係者2名が内定しました。この間のとりくみの経過について、交流集会で発言します。

子育て支援 選択と集中で

0万円前後は負担が増えるともみられるが、太田氏は「(財源は)選択し集中することで経費は生まれてくるので、可能だと思ってる」と自信をのぞかせる。

17日夜、祝勝会場となった事務所
所で当選の喜びを語った太田氏は、どのような政策から進めていくのか報道陣に問われると、新型コロナウイルス対策の次に子育て支援を挙げた。選挙戦で掲げた「暮らしを守る」の項目の一つが、中学3年生までとなっている医療費無料化の対象範囲を18歳まで拡大することだ。実現すれば松本地区の3市では初となる。

医療費無料化の対象年齢拡大はこれまでも市議会で度々、議論されてきた。今年の市議会3月定例会の一般質問でも取り上げられ、福祉部長(当時)は「社会保障費が拡大していく中、生活に必要な現在の福祉サービスを維持していくためにも、拡大するのは現状では困難」との考えを示している。

算から計算すると、15歳までの医療費無料化にかかった市の負担は約1億5000万円だった。これに対し、人口が安曇野市とほぼ同じで、18歳までを無料化している佐久市が負担した費用は約2億円だった。単純に比較はできないが、対象年齢の引き上げで500

0万円前後は負担が増えるともみられるが、太田氏は「(財源は)選択し集中することで経費は生まれてくるので、可能だと思ってる」と自信をのぞかせる。

子育ての課題は医療費無料化だけではない。「共働きをサポートしてくれる子供の居場所を増やしてほしい」(豊科地域の45歳女性)など、小学校4年生までの受け入れが多い放課後児童クラブの対象拡大を望む声は根強い。入園を希望しても入れる保育施設のない「待機児童」も深刻だ。4月1日時点の待機児童は12人で、県内で待機児童が確認された安曇野、松本、長野の3市で最多となった。

告示日の第一声で意欲を見せた人口の自然増の実現には、子育て支援が欠かせない。掲げた政策の実現力が就任早々から問われる。

(赤羽啓司)

三郷児童館で遊ぶ放課後児童クラブの小学生たち(18日)。受け入れ年齢の拡大を望む声は大きい



① 施策の財源 どう確保

新人3人による安曇野市長選挙を制し、第3代の市長就任が決まった太田寛氏(65)＝堀金烏川＝は、23日に1期目の任期が始まる。前副知事として政策の「実現力」をうたう太田氏には、さまざまな市政課題が待ち受けている。太田氏が政策に掲げた「守る」「創る」「興す」の3本柱に沿って新市政を展望する。

太田市政 船出へ

安曇野市 新時代